

(2) 報告事項

イ 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた取組について

- ① 第4期がん対策推進基本計画（国）
の中間評価における対応方針
- ② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた取組
 - （1）ロジックモデルの見直しについて
 - （2）今後のスケジュール

① 第4期がん対策推進基本計画（国）の中間評価における対応方針

① メリハリのある分析・評価のためのコア指標の選定

- 全ての指標を漫然と分析・評価するのではなく、**重要な指標に絞って**メリハリをつけて分かりやすい分析・評価をする。具体的には、**「コア指標」**を予め選定し、「その他指標」は測定結果のみを提示し、進捗を把握する。

コア指標	指標としての質が高く、アウトカムへの影響も大きい指標 例) 年齢調整死亡率／罹患率、がん種別早期がん割合、検診受診率（国民生活基礎調査）等
その他指標	計画で提示された施策の進捗や効果を把握するために定める指標 コア指標の評価の際に、分析にも用いられる

② 都道府県ごとのがん対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

- 都道府県ごとのがん対策の進捗状況を評価するため、**都道府県ごとにコア指標を可能な限り測定・公表**する。あわせて、**都道府県のがん対策が見える化**しながら、地域の実情に応じたより良い取り組みが横展開しやすくなるよう取り組みを進める。

① 第4期がん対策推進基本計画（国）

の中間評価における対応方針

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた取組

（1）ロジックモデルの見直しについて

（2）今後のスケジュール

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた取組

(1) ロジックモデルの見直しについて

- 現計画の中間評価までに、ロジックモデル及び指標の見直しを行う。
- 国及び各都道府県のロジックモデル等を参考にするとともに、県独自の施策も取り入れていく。
- 各指標の目標値を設定し、評価基準を定める。

② 神奈川県がん対策推進計画の中間評価に向けた取組

(2) 今後のスケジュール

